

# EDINETタクソノミのメンテナンス

金融庁 総務企画局 企業開示課

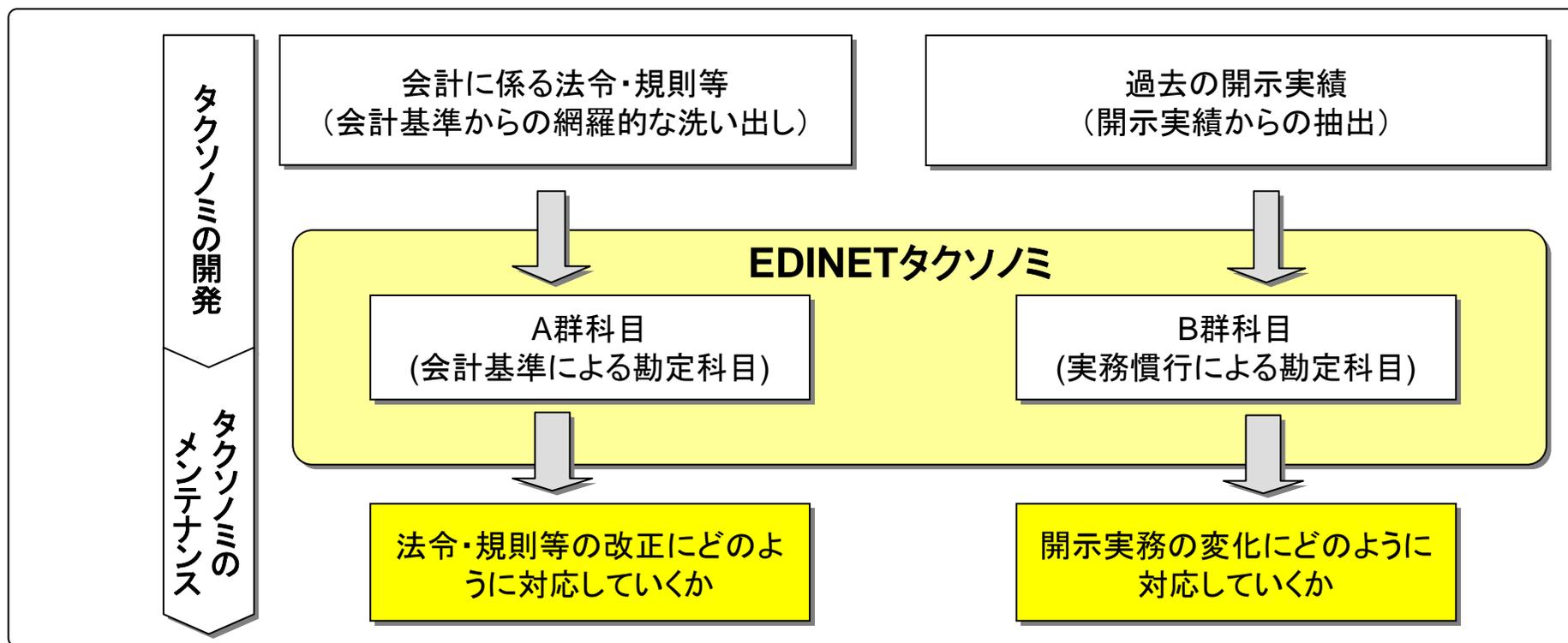
2007年2月15日

## 1. 課題の概要

EDINETタクソミは、開発時点での法令・規則等および過去の開示実績を基に作成されるものである。今後、規則の改正や開示実務の変化が発生した場合、それらに合わせてタクソミの改訂を行わなければ、タクソミは最新の開示実務に対応しないものとなり、EDINETタクソミによる提出会社の作成負担軽減や比較可能性の向上といった効果が低下する可能性がある。

従って、開発後において、如何なる方針によりEDINETタクソミをメンテナンスしていくかを検討する必要がある。

なお、その性格の違いからA群科目、B群科目に分けて検討を行う。



## 2. EDINETタクソノミのメンテナンス

想定されるA群科目、B群科目のそれぞれのメンテナンスの手法およびその影響は以下の通り。

	A群科目	B群科目
メンテナンスの手法	法令・規則の改正情報を基に、勘定科目を網羅的に取込み	開示実績を分析し、一定の基準で標準勘定科目を選定し取込み
メンテナンスの性格	事前的	事後的
メンテナンスによる効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改正後の規則に対応したXBRLデータの作成負担軽減</li> <li>・開示項目の共通化による企業間の比較可能性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後追いで同一の項目を使用する提出会社のXBRLデータ作成負担軽減</li> <li>・開示項目の共通化による企業間の比較可能性の向上</li> </ul>
メンテナンスによる課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出会社は過年度の開示項目の見直しが必要となる可能性</li> <li>・同一企業の経年比較にて、同一開示項目の連続性が損なわれる可能性</li> </ul>

規則等の改正および実務への適用に合わせて適時にメンテナンスを行う必要

利用者および提出会社の利便性を考慮した適切な方針でメンテナンスを行う必要

### 3. EDINETタクソミのメンテナンスフロー

タクソミメンテナンスの全体フローについては概ね以下の様に想定している。

